

# 下呂市を襲った大雨

## ・令和2年7月豪雨

7月3日から14日にかけて梅雨前線が本州付近に停滞した。前線に向かって暖かく湿った空気が続いて流れ込んだため、大気の状態が不安定となって前線の活動が活発になった。下呂市荻原では7日から8日にかけて24時間降水量が414.0ミリ、6日から8日の48時間降水量が557.5ミリを観測するなど、飛騨地方を中心とした大雨が下呂市を襲った



↑ 令和2年7月豪雨で起こった洪水



↑ 令和2年7月豪雨で起こった川の増水

## ・令和3年8月12日から19日までの大雨

下呂市荻原では14日から15日にかけての24時間降水量は294.5ミリ、13日から15日にかけての48時間降水量は445.0ミリを観測し、これまでの8月の1位の値を更新する大雨となった。13日3時半から15日4時頃までの間には大雨警報、14日9時半から15日2時半頃までの間は洪水警報、また、14日9時から15日3時半頃までの間には土砂災害警戒情報が発表されるなど、住民の方々の緊張感を高めていった。

令和3年8月の大雨で住宅が壊されている →

